



# テクニカル・メッセージ

## マニュアルトランスミッション搭載車両の変速操作について

マニュアルトランスミッション及びFFシフトの性能は、変速操作方法および整備状況により、大きな影響を受けます。故障を未然に防止し、末永く安心してご使用いただくために、下記内容を参考に変速操作および整備の実施をお願い致します。

### 1. 対象車両

マニュアルトランスミッション、FFシフト搭載車両

### 2. 正しい運転操作

- ・変速するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで下さい。  
クラッチペダルの踏み込みが浅いと半クラッチ状態となり、トランスミッションを損傷させるおそれがあります。  
(クラッチ切れ点の調整及びクラッチセンサ作動点の調整は整備解説書をご参照下さい。)
- ・チェンジレバー又はセレクトレバーの変速操作は、一呼吸置く感じでゆっくり行って下さい。  
クイックシフト、強引な操作、チェンジレバーの延長等は、トランスミッションを損傷させるおそれがあります。
- ・変速操作時以外は、チェンジレバーから手を放して下さい。
- ・前進から後進、後進から前進に変速する変速操作は、車両を完全に停止させてから行って下さい。
- ・シフトダウンする変速操作は、減速してから一段ずつ行って下さい。  
正しい変速操作を行わないと、エンジンがオーバーランを起こし、破損するおそれがあります。

### 注 意

正しい変速操作を行わない場合、下記の不具合が発生するおそれがあります。

- ・ギヤ入り不良(ギヤ鳴き)
- ・ギヤ抜け
- ・ギヤ抜けず(ストッパ破損によるオーバーストローク等)
- ・エンジンオーバーラン(スキップシフト、ミスシフト等)